

第6回硫黄島に係る遺骨収集帰還推進に関する関係省庁会議要旨

日 時：平成26年10月1日（水）14：00～14：15

場 所：首相官邸3階南会議室

出席者：衛藤晟一内閣総理大臣補佐官（議長）、黒田武一郎内閣官房副長官補付内閣審議官（副議長）、角田隆内閣官房副長官補付内閣参事官（財務担当）、佐々木裕介内閣官房副長官補付内閣参事官（厚生労働担当）、斉藤和重内閣官房副長官補付内閣参事官（防衛担当）、石月英雄外務省北米局北米第一課長、谷内繁厚生労働省大臣官房審議官（援護担当）、七條浩二厚生労働省社会・援護局援護課長、望月文明厚生労働省社会・援護局援護企画課外事室長、武田博史防衛省大臣官房審議官、中嶋浩一郎防衛省大臣官房文書課長、竹内芳寿防衛省経理装備局施設整備課長

【硫黄島に係る遺骨収集帰還の取組状況報告及び平成27年度予算概算要求の状況報告について】

- 厚生労働省より、資料1「硫黄島に係る遺骨収集帰還の取組状況について」及び参考資料1「平成26年度以降の硫黄島遺骨収集帰還事業について」に基づき、平成26年度の実施計画、平成26年9月16日現在の取組状況及び今後の取組予定について以下のとおり説明。
 - ・ 滑走路地区については、御遺族等の立会の下、芝生区域384箇所を掘削したが、御遺骨は確認されなかった。今後は、御遺族等の立会の下、残りの対象箇所（①滑走路下30箇所、②探索済みの壕1箇所、③芝生区域730箇所）の掘削・遺骨収容を行う予定であり、未探索の壕1箇所の掘削方法についても検討。
 - ・ 外周道路外側については、平成26年度調査予定区域の踏査を終了しており、今後は、踏査結果を踏まえ、掘削調査計画を策定し、平成26年度調査予定区域の掘削・遺骨収容を行う予定。
 - ・ 平成23～25年度の面的調査により確認された壕等については、御遺族等の協力を得て、5回の遺骨収集帰還団を派遣し、全77箇所のうち39箇所の壕等から遺骨収容を実施し、32柱の御遺骨を収容したところであり、残りの38箇所についても遺骨収容を実施する予定。
- 厚生労働省より、資料2「平成27年度硫黄島関係予算概算要求（厚生労働省関連）について」に基づき、平成27年度硫黄島関係予算の概算要求においては、慰霊巡拝への医師、看護師の同行に係る経費を含め、今年度予算と同程度を要求している旨説明。また、他の地域も含めた遺骨収集帰還事業全体として、通常の要求に加え、遺骨収集帰還事業の集中的な取組を促進するための事項要求をしている旨説明。
- 滑走路敷設時の経緯、未探索の壕の調査方法等について質疑応答があった。

（了）